毎週月曜日更新

カタカタ通信

第２０１号

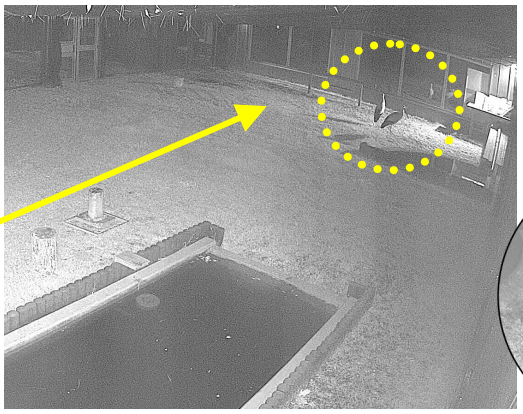
「盛り上がりを合わせて」

２０２５年１１月3日

最近の空と花の距離感についてのお話。

２０２５年春の繁殖期が終わってから、夜間過ごす場所が巣台から地面に変わりました。それ以降の夏の間は、大きな２つの池に挟まれたフェンス近くがお気に入りの場所でした。日よけと目隠しを敢えてつけなかったので、風の通りが良い場所です。それからだんだん涼しくなってくると、建物の近くで夜間過ごすことが増えてきました。

１０月上旬　まだこっちも



建物側が多くなってきました

２羽の距離は、やや離れている印象です。どちらかが近づくと、まるで磁石のように、近づかれた方が少し離れる感じです。クラッタリングの数がとても多い日もありました。空が花に近づくと、花がカタカタしながら離れていったり、今度は花から近づいたのに、カタカタと離れたり。２羽で一緒のクラッタリングも、やや増えたり減ったりとばらつきが出てきました。次の繁殖期に向けて、徐々にいろんな行動を重ねて、少しずつ盛り上がってくれると思います。

最近の空と花は、丁寧な羽繕いでダウンのような細かなフワフワの羽がたくさん抜けています。毎朝、そんなダウンを掃除機で片づけています。雨上がりはなかなか手こずってしまいますが、晴れた朝に乾いたフワフワをすっと吸えると気持ちが良いです。雨上がりといえば、濡れた体重計用の丸太を天日干しして戻した時のこと。丸太を置いて、扉を出て振り返った頃には、早速空が上に乗っていました。意外とお気に入りスポットのようです。

空と花はもうしばらくのんびりが続きます。２０２６年の繁殖期には、２羽で盛り上がるタイミングが合うことを願っています。

乾いたので置きなおし

すぐに乗る空！

天空の里　鴻巣市コウノトリ野生復帰センター
飼育担当：しみじぃ